



子どもたちのために

先週、子どもたちのために、たくさんの大人の方が集まってくださいました。

読書ボランティアの方々には、7月1日の呉空襲にかかわる絵本を各教室で読んでくださいました。挿絵も用意してくださり、子どもたちも真剣に聞いていました。読書ボランティアの方には、毎月2回読み聞かせをしていただいています。毎回、学年に合った内容を準備してくださり、子どもたちが本に接するよい機会になっています。

声楽家の竹田先生にも来てくださいました。夏のメドレーを聞かせてくださり、「キラキラ星」「茶つみ」など、子どもたちが知っている曲もあり、竹田先生の澄んだきれいな歌声を静かに聞いていました。みなさんに感謝したいと思います。



たくさんの命が・・・



体育館に響く歌声

浮いて待て

5・6年生は金曜日に、着衣泳の学習を行いました。水難学会の指導員の方が2名来てくださいました。昨年は、コロナで、体育館で行いましたが、今年は、実際に服を着てプールに入りました。

指導員の方の指導は、とても分かりやすく、背浮きの仕方や、ペットボトルなど物を使って浮く方法、服を着て泳ぐことの困難さなど、実際に経験しながら理解することができました。

最後に、全員で5分間浮くことができるかやってみましたが、ほとんどができませんでした。指導員の方は、「7分浮けないと救急を呼んでも間に合わない。だから危険な場所には子どもだけで行かない。」「ライフジャケットなど用意することが大切。」など教えてくださいました。夏休みを前に、貴重な体験をすることができました。



まずは浮くことから



服を着ては泳げない